

第2回 まとめ

二宮町 公共施設再配置・町有地有効活用

町民ワークショップ

公共施設と町有地 今できることとこれからを考える

平成 29 年 9 月 2 日(土)に二宮町役場にて、「第2回 二宮町公共施設再配置・町有地有効活用町民ワークショップ」を開催しました。

第2回は、テーマ 1(東京大学果樹園跡地の活用を考えよう)13 名とテーマ 2(公共施設の再配置・管理運営を考えよう)7 名の計 20 名の方が参加されました。全員で基調講演を聞いた後、それぞれのテーマに分かれワークショップを行いました。



ワークショップのテーマと概要

テーマ1

東京大学果樹園跡地の活用を考えよう

東京大学果樹園跡地を魅力的な交流拠点として、どのような場所にしたいか、実現に向けた取り組みとして何ができるかについて考えます。

テーマ2

公共施設の再配置・管理運営を考えよう

サービスの向上や効率的な管理運営のため、利用しやすい予約方法や民間ノウハウの導入、施設再編の方向性などについて考えます。

ワークショップのプログラム

時間	項目	内容
14:30~	開会	・開会
14:35~	基調講演	・「公共空間の利活用」～町民の誇りとなる公共空間とは?～ 講師：飯石藍氏(公共R不動産/リージョンワークス合同会社ディレクター)
15:05~	質疑応答	・参加者からの質疑応答
15:15~	移動・休憩	・テーマごとに分かれる
15:20~	テーブルワーク	・テーマごとに進行 ・テーマの説明、自己紹介など ・話し合い・発表・意見交換
17:00	閉会	・閉会

基調講演の概要

基調講演：公共空間の利活用

～町民の誇りとなる公共空間とは？～

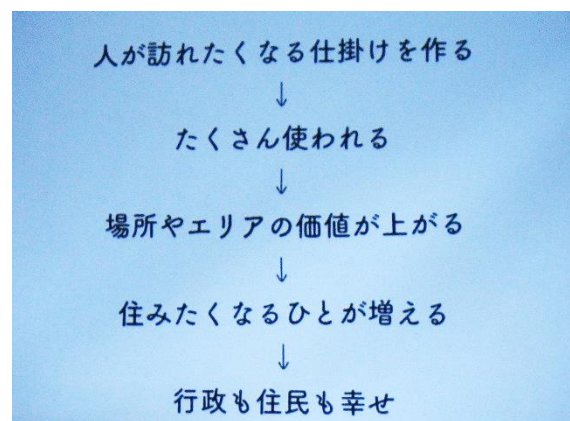
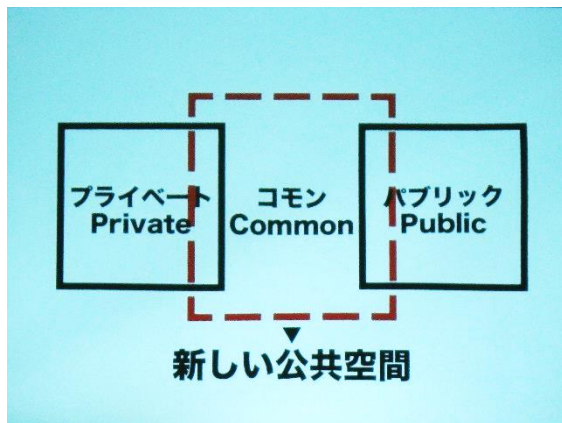
基調講演講師 飯石藍氏

コンサルティング会社にて自治体向けの業務改善支援業務などに従事した後、企業CSRの企画支援、全国のNPOの経営支援などを手がける企業での勤務を経験。2014年より、公共施設・公共空間をもっと面白くするためのメディア「公共R不動産」の立ち上げに参画し、全国各地のまちで公民連携・リノベーションまちづくりのプロジェクトに伴走者として携わる。



講演要旨

- ・公(パブリック)と民(プライベート)の立場を超えて連携しながら、新しい公共空間という形で概念を作り、色々な方が公共空間に携われる形や仕組みを作ったり、使いたい人に情報を届けたりという活動を実践されており、多数の事例とあわせてご紹介いただきました。
- ・事業手法として従来の全体計画から基本・実施設計、開発という大きな流れとなる「ウォータフォール型」から小さく色々なものを作り続けて検証しながらステップアップさせる「アジャイル型」がメジャーになってきており、東京大学果樹園跡地での実践などについてもアドバイスをしていただきました。



テーマ1

東京大学果樹園跡地の活用を考えよう

テーマ1「東京大学果樹園跡地の活用を考えよう」では、基調講演に引き続き飯石さんを交え、参加者同士で右に掲げた課題について、2グループに分かれて意見を出し合い、最後にグループの代表者がまとめを発表しました。

発表後、ファシリテーターの原さんと飯石さんからフィードバックをいただきました。

農、自然をテーマに学びの場（遊び場）

感想のシェア：使いたくなる公共空間とは 10分

未来が楽しくなる日常を描く

友人をつれていきたい場所

居心地が良い公共空間とは 40分

Aチーム

東大跡地に残された由緒正しい建物をメインストリートにして、民泊ゲストハウスや、同じ趣味で繋がれる人が集まれる場所とする一方、一人の時間を大切にしたい人が静かに過ごせる空間もつくりたい。

グラウンド周辺は芝生でなく、クローバーなどの原っぱでよいがキャンプが出来る場所があるとよい。キャンプ施設は防災機能も兼ねられるとよい。

外で食べる食事は美味しいのでBBQなど屋外スタイルとしたい。

夜、大人が集まれるバーがあるとよいが、トラブルの原因にもなりそうなので別の場所に任せてもよい。

A地区を太陽光発電付の駐車場として、車を駐車するエリアと歩行者のための空間を分けるとよい。

温泉スタンドの活用も出来るるとよい。



使いたくなる公共空間とは？

- ・遊びを考えるということが大事。
- ・みんなが集まれる場所。
- ・遊びとお金を生み出していかなければならない。資金力がキーとなる。

行ったことがある魅力的な場所は？

- ・ちひろ美術館とその周辺（長野県）
- ・白馬のログキャンプ（長野県）
- ・大磯野外カフェ「tao 海賊船」
- ・清澄白河のCafe

Bチーム

キャンプ場など自然をテーマに活かした施設がいいのでは。大きな枠組として、町民がメインに使うエリアと、外から人や会社を呼んで収益を上げるエリアを考える。町の人と外の人、両方が有効的に利用できて楽しめる感じになるとよい。具体的には現在も残っている果樹を活かしたり、奥のスペースを共同の菜園場にしたりして、収穫したものを BBQ で食べられる場所があるといい。入口付近など静かなエリアにはツリーハウスをつくる。駐車場はもちろん必要なので、入口付近に設ける。管理棟の前に、休憩スペースや大人も子どもも利用できる食事スペース、あらゆる年代がくつろげる場所、ワークショップのスペースなどをつくる。外から呼んだ人とのバランスを取りながら、皆が使えるようなものを点在させていく。ブランド力のありそうな既存施設は、町の方や障がい者の方のスペースとして活用しながら残していきたい。



使いたくなる公共空間とは？

- ・野球が出来たり、子どもの自然塾が開かれたり、子どもが安心して遊べる場所としてどう活かしていくかが重要。
- ・幅広い世代、大人も遊べる空間にしていくのが今後の課題。

行ったことがある魅力的な場所は？

- ・御殿場高原 時之栖（静岡県）
- ・道志の森キャンプ場（山梨県）
- ・相模原・銀河の森プレイパーク、鎌倉文学館、平塚里山（神奈川県）
- ・羽根木公園（東京都）

テーマ2 公共施設の再配置・管理運営を考えよう

テーマ2では、まず各施設の概要や施設に係る費用面などを含めた公共施設の現状について全体で共有しました。

分類毎に施設やサービス、コストの視点で参加者の間で課題を話し合いました。

今回の課題を踏まえ、次回は、町が課題解決策として検討している「利用方法の統一化」、「公民連携の導入」、「受益者負担の適正化」について考えます。



庁舎（役場庁舎、教育委員会事務所、町民サービスプラザ）

【施設の課題】

（役場庁舎）

- ・高齢者に坂がづらい。駅前町民会館の場所が良い。
- ・職員のスペースが狭く、相談しにくい。
- ・圧迫感がある。暗い。

【その他】

（役場庁舎）

- ・駅から近い。
- ・町のシンボルとなる施設

貸館（町民センター、駅前町民会館）

【施設の課題】

（町民センター）

- ・裏の出口が開いたままで3階のトイレが利用しにくい。
- ・鍵やエアコンなど設備の修繕や更新してほしい。

【サービスの課題】

（町民センター）

- ・当日利用可としてほしい。
- ・個人利用ではなく団体利用向けの予約方法で、今のニーズに合っていない。

【その他】

（貸館全般）

- ・予約システムは、既存のシステムならすぐ導入出来るのではないかな。

福祉施設（保健センター、福祉ワークセンター）

【施設の課題】

（保健センター）

- ・エレベーターがない。

【サービスの課題】

（保健センター）

- ・健診を役所か保健センターかどちらかに統一してほしい。

【その他】

（保健センター）

- ・子育てサロンと一緒にあったらよい。

スポーツ施設（町立体育館、町民運動場、武道館、町民温水プール、山西プール、袖が浦プール）

【施設の課題】

- （スポーツ施設全般）
- ・ 駐車場がない、容量不足の施設が多い。（町民運動場）
 - ・ 何もない。（袖が浦プール）
 - ・ 車でアクセスしにくい。

【コストの課題】

- （町民温水プール）
- ・ 維持管理費がかかり過ぎ。廃止でも良いのでは。

【サービスの課題】

- （スポーツ施設全般）
- ・ 大会などの開催が多い。他の目的でも使いやすくしてほしい。（町民温水プール）
 - ・ 利用料金が安く、町外の利用者が多い。（町民運動場）
 - ・ 駐車場もあるので、イベントに開放してほしい。

【その他】

- （町民温水プール）
- ・ トレーニングルームとジャグジーがよい。（袖が浦プール）
 - ・ 袖が浦プールの場所は、海が一望でき、二宮らしさがある。二宮をPRできる施設がほしい。
 - ・ 袖が浦プールの場所にカフェがほしい。

文化施設（生涯学習センター ラディアン、ふたみ記念館）

【施設の課題】

- （生涯学習センター ラディアン）
- ・ シンボルと言えるか？外観までお金をかけられない。中はお金がかかっている居心地がいい。

【その他】

- （生涯学習センター ラディアン）
- ・ 坂上の町民センターよりラディアンのほうが通いやすい。
 - ・ テラスで山が見えてよい。

教育施設（二宮小学校、一色小学校、山西小学校、二宮中学校、二宮西中学校、学校給食センター）

【施設の課題】

- （学校全般）
- ・ 空き教室が増える。他の用途に使えないか。

【その他】

- （学校全般）
- ・ 学校を中心とした町民のスペース（ミーティングルームなど）を作るとよい。
 - ・ 一色小と山西小に保育園を併設して、駅前にも分園を設置してはどうか。
 - ・ 学校施設を有効活用したい。
 - ・ 学校を拠点にコミュニティを守る。教育を絡めたイベントを実施。

【コストの課題】

- （学校全般）
- ・ 学校が経費・面積的に大きい。数だけ減らす訳にはいかない。教育も考える必要。

地域集会施設（児童館、老人憩の家、公会堂、防災コミュニティセンター）

【施設の課題】

- （老人憩の家）
- ・ 廃墟化している。

【サービスの課題】

- （地域集会施設全般）
- ・ 老人憩の家などはその地区に住んでいる人がいないと使えない。
 - ・ 排除されている感じを受ける。

【その他】

- （地域集会施設全般）
- ・ WEBで申し込めるようにしたらどうか？

子育て関連施設（百合が丘保育園、百合が丘子育てサロン、栄通り子育てサロン）

【施設の課題】

（百合が丘保育園）

- ・不便。他の場所へ移ってもよい。
- ・収益が上がっているのに、この古さはない。
- ・駐車場がない。車で出勤か駅に駐車するしかない。近隣迷惑になるほど渋滞する。
- ・町営が少ない。（選択肢が少ない）

【サービスの課題】

（百合が丘保育園）

- ・一時保育は1人しか不可能。
- ・一時保育の金額が高い。
- ・民間との違いが出せる便利な保育園が町営にはない。
- ・教育の質が低い。町が質の高い保育園を供給してほしい。

【その他】

（子育て関連施設全般）

- ・駅前町民会館を保育園にしては？
 - ・子育て関連を充実すると活性化出来るのでは？
 - ・保育園や幼稚園などと小学校を一緒にするのがいいのでは？
- （百合が丘子育てサロン）
- ・老人の施設と一緒にできれば地域の人に相談出来る。公会堂にあると良い。

消防施設（分団詰所）やその他（駅北口・駅南口自転車駐車場）への課題は上がりませんでした。

今後のスケジュール

時期	テーマ1	テーマ2
第1回 7月21日	○ワークショップの概要 ○講演「サードプレイス、エリアブランディング」 ○オリエンテーション	
第2回 9月2日 <今回>	○講演「公共空間の利活用」 ○居心地がよい公共空間 ○友人を連れていきたくなる公共空間	○公共施設の現状と課題
第3回 9月30日	○講演「新しい暮らしのヒント」 ○事業性と管理運営について	○講演「公共施設の再編計画を考える」 ○公共施設の管理運営
第4回 10月上旬	○シミュレーション：現地（その1）	○シミュレーションゲーム（その1）
第5回 10月下旬	○シミュレーション：現地（その2）	○シミュレーションゲーム（その2）